

## 論点 1 ごみ収集業務の現状や課題，緊急時における対応等

ごみ収集業務の現状や課題について。また，災害発生時等の緊急時における対応や委託業務の適正な確保等を図るために，どうあるべきか。

### 1 ごみ収集業務の現状や課題

(まとめ)

定期収集の方法や頻度は現状のままでよい。

収集時間は，燃やすごみについて，午前収集の要望が多く，生活環境の保全，公衆衛生の維持の観点からも実施を検討する必要がある。その際，ごみ減量の推移や収集コスト等を考慮しつつ，収集体制を適切に構築する必要がある。

#### 【委員からの関連意見】

- 臭気，カラス被害など公衆衛生の問題が生じることから，燃やすごみの収集時間を午前中にしてほしい。現状の体制では難しいかもしれないが，ごみ減量が進めば，全市域で午前中に収集可能となるのではないか。
- ごみ減量が進めば，燃やすごみを全市域で午前中に収集することは可能と考えるが，ごみ収集に従事する職員が，午後からどのような業務を行うか，という議論が必要である。

### 2 災害発生時等の緊急時において求められる役割や機能

(まとめ)

災害発生時等の緊急時においては，市民生活の早期復旧と，公衆衛生の維持・向上のため，直営による収集体制を必要最小限保持し，被害状況や避難状況の把握，災害ごみの収集や定期収集の速やかな回復に万全を期す必要がある。

#### 【委員からの関連意見】

- 100%民間委託する場合，行政として責任を持った業務遂行ができるか疑問である。50%民間委託後，更に委託化を進めるに当たり，予想されるリスクを踏まえ，行政と民間の役割分担等について，丁寧な議論が必要である。民間委託した際には，ごみ収集業務が適正に実施されるよう行政が確実にコントロールできるかが重要である。

### 3 ごみ収集委託業務の適正な確保

(まとめ)

委託業務の拡大に伴い、本市による受託業者への管理・監督の強化や業務の一層の質的向上を図るため、職員が収集コースの把握をはじめ必要なノウハウを保持しておく必要がある。

また、業者の倒産や契約違反等による業務不履行等のリスクに対応する必要がある。

#### 【委員からの関連意見】

- 市民が信頼できるのはやはり役所である。ごみ収集業者が入札等で毎年変わるようでは、どこに相談すればよいか困る。ごみ収集業務については、行政が業者を適切に指導するとともに、行政と民間業者が切磋琢磨しながら取り組んだら良いと思う。

### 4 市民ニーズに応えるために取り組むべき業務

(まとめ)

現在実施している「ごみ収集福祉サービス（まごころ収集）」や、狭路での軽車両による収集等については、高齢社会の進展や本市の道路事情等を踏まえて、市民サービス向上の観点から充実を図る必要がある。

#### 【委員からの関連意見】

- 京都市のごみ減量・リサイクルの取組は先進的で、かつ成果も出ている。これまでのノウハウを十分に生かし、市民サービスの向上を図ることが必要である。その際、知識、経験があるという点で、まち美化事務所、エコまちステーションの役割は非常に重要と考える。優秀な職員の育成も必要である。